

令和3年度 第2回遊佐パーキングエリアタウン計画推進委員会及び
第1回遊佐パーキングエリアタウン計画推進ワーキンググループ
議事概要

1. 日時

令和3年10月18日（月）14:00～15:30

2. 場所

「鳥海温泉 遊楽里」鳥海文化ホール

3. 出席者（敬称略）

遊佐パーキングエリアタウン計画推進委員会

遊佐町商工会：阿部 副会長

NPO法人遊佐鳥海観光協会：佐藤 理事長

一般社団法人酒田青年会議所：久木原 理事長

荘内銀行 遊佐支店：佐藤 支店長

株式会社きらやか銀行 遊佐支店：岡村 融資課長（代理出席）

株式会社山形銀行 酒田支店：吉田 支店長

山形県漁業協同組合：伊原 理事

東北公益文科大学：温井 教授

遊佐パーキングエリアタウン調査特別委員会：高橋 委員長

遊佐町総合交流促進施設株式会社：池田 代表取締役

オブザーバー

国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所 調査第二課：田村 課長

国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所 調査第二課：根本 専門官

酒田港風力発電事業者協議会：加藤 会長

庄内総合支庁 建設部 道路計画課：澤井 課長

庄内総合支庁 建設部 道路計画課：佐藤 道路企画専門員

ワーキンググループ（WG）

東北公益文科大学：温井 教授

遊佐町商工会：阿部 副会長

荘内銀行 遊佐支店：佐藤 支店長

NPO法人遊佐鳥海観光協会：高橋 事務局長

鳥海山シートゥーサミット実行委員会：佐藤 委員長

遊佐町総合交流促進施設株式会社：森 取締役常務

遊佐町優良特産品推進部会：平 会長

山形県漁業協同組合：伊原 理事

庄内みどり農業協同組合：大谷 理事

事務局

企画課 PAT 整備推進室：佐藤 課長兼室長

地域生活課：畠中 課長

産業課：渡会 課長

企画課 PAT 整備推進室：池田 係長

企画課 PAT 整備推進室：伊藤 主事

パシフィックコンサルタンツ株式会社（PCKK）：桂田、鳴海

4. 議事

■議事概要

- 官民連携基盤整備推進調査事業の進捗状況について
- 今後の推進委員会及びワーキンググループの運営について
 - ・ 今後推進委員会に諮っていきたい内容について、共有を行った。
 - ・ 今後実施するヒアリング調査への協力を仰いだ。
 - ・ 次回以降は具体的な意見交換となるよう、議題となる資料を用意することとした。

■議事内容

1. 開会

2. 挨拶

温井委員長より挨拶

3. 協議事項

(1) 官民連携基盤整備推進調査事業の進捗状況について

- 事務局（遊佐町企画課 PAT 整備推進室）より、官民連携基盤整備推進調査事業の進捗状況について説明があった。

⇒ 特に意見なし。

(2) 今後の推進委員会及びワーキンググループの運営について

～ PCKK よりプロポーザル時の企画提案プレゼンテーションを行う ～

推進委員会 委員

- ・今回の委員会では、今後推進委員会に諮っていきたい内容についての共有と、ヒアリング等のスケジュールに関して、委員の皆様から質問や意見等をいただきたい。
- ・企画提案の中にあった DBO サイクルについて、運営の中身を把握していない状態で設計、建設を進めることは、意味のないことであると感じた。運営側のアイデアがあって、設計、建設に反映させることが重要である。そのためには、事業者を早期に見出すこと、駅長が个性的でコンセプトがしっかりしていること等が求められる。優れた駅長は微修正を重ねて試行錯誤しているように思う。
- ・駅長の選定については、いつ頃を想定するのが適切か。

PCKK

- ・駅長選定の時期については、今後の協議によるところかと思うが、本調査業務終了後、来年度末以降となることが想定される。

推進委員会 委員

- ・公共事業では、建物ができてから運営者が決定することとなる場合、様々な問題が発生してしまうという印象が強い。特に、サービス施設においては致命的な欠点となる可能性もある。

WG 委員

- ・運営に関する候補者については、待っているだけではなく事前にある程度考えておくべきだと思う。
- ・ヒアリング調査については、来年の3月までに行う予定と考えてよいか。その場合、ワーキンググループで実施することとなるのか、また、スケジュールを知りたい。

事務局

- ・ワーキンググループの皆様には、本業務でのヒアリング調査実施時に、専門的な観点でお話を聞かせていただきたい。スケジュールについては、今後個別に調整を依頼する予定である。

WG 委員

- ・新道の駅（PAT）について、整備予定地は県内でも僻地であるため、いわゆる単純な商業施設ではなく、収益を上げるだけの道の駅ではないと思う。
- ・地域にとっては最後のゲートウェイになることが想定され、将来のまちづくりにおいて

重要なポイントとなるため、地域を大事にする気持ちが生きてほしいと思う。

- ・経済効果を地域に還元できる拠点にしたいという思いがあり、来訪者、事業者、地域住民の三方良しという結果になることが望まれる。
- ・事業手法における、PFI については、法務的な観点が非常に重要だと認識しており、早期の段階から理解しておかなければならないと考えている。また、PFI での成功事例も知っておきたい。
- ・施設概略設計については、地下式の貯留槽、水田への影響に懸念がある。隣接する国道 345 号の先にあり、過去に氾濫の履歴もある高瀬川も意識した排水対策を検討してほしい。
- ・高瀬川を使った、カヌー移動や、館船等、海と陸を繋ぐ道の駅となればいいのではないかと。

推進委員会 委員

- ・遊佐町の将来の話と、今回の業務で対応可能な話と、を、分けて考えて理解していかなければならない。ワーキンググループの皆様を中心に動いていただきたいのは、道の駅内の機能やコンテンツの検討だと思っている。コンサル会社に任せるだけでなく、適切にワーキングを実施し、委員会で意見を出すというようにしていきたい。

推進委員会 委員

- ・新道の駅 (PAT) の事業手法について、必ずしも PFI でなくても良いという内容が審査の際にも印象的であった。補足して説明してほしい。

PCKK

- ・承知した。(企画提案プレゼン内 D0 方式について補足説明)

推進委員会 委員

- ・D0 方式のように、運営者を先に決めることができ、基本設計と並行して意見を取り入れていくという進め方が望ましい形であると思う。

推進委員会 委員

- ・1 回目の委員会を踏まえての質問である。今後の進め方について、最終的に遊佐町長に意見書を出すことが職務になっていると思うが、令和 4 年度のスケジュールを出してもらいたい。
- ・本委員会では何を決めて、どういった意見書を提出すれば良いのか、というのをはっきりさせてほしいと思う。

事務局

- ・推進委員の皆様の任期については、令和3年度、4年度の2年間をお願いしている。最終的に委員会から提出いただきたい意見書については、道の駅の管理運営をどのような手法で行うのか、今年度業務ではっきりさせてから、具体的内容を決めていくことになると思う。施設の管理運営、施設テーマ、施設の規模等について、提案をしていただきたいと思っている。
- ・将来的な道の駅開業時期が令和8年度であることに変わりはない。基本計画の修正等が令和4年度にずれ込んだとしても、開業時期は変わらず間に合うと考えている。

推進委員会 委員

- ・当初のスケジュールでは、基本計画は令和4年度までであり、令和4年度中から、基本設計がスタートする予定ではなかったか。後ろ倒しが可能なのであれば、それに伴ってスケジュールを修正した方が良いのではないか。

推進委員会 委員

- ・議会では、新道の駅（PAT）特別委員会を設置している。推進委員会とは異なり、運営を含めた長い期間設置されると思っている。
- ・スケジュールが非常にタイトであるが、鶴岡市の鼠ヶ関道の駅と業務期間が被っている。両方の良いところを活かせるようにしてほしい。また、PCKK内の全国の蓄積した実績をどのように活かしていくのか、短期間に実力を発揮してほしい。
- ・委員会の進め方については、具体的な課題がないと、意見が出にくいと思う。

推進委員会 委員

- ・次回からは、議題となる資料を用意することになると思う。活発な意見交換を期待したい。

推進委員会 委員

- ・水産物について、鶴岡市の鼠ヶ関地区と遊佐町とは状況が違うと考えている。底引き船は数が少なくなり、安定供給ができるか、というところに疑問を感じる。
- ・新道の駅（PAT）では、漁業者の収入に還元できるだけの利益を出していかなければならないと思う。
- ・漁協としては加工場をもっており、加工品であれば、安定供給できると思うが、加工品となると全国と競合することになるため、不安がある。また、加工品の供給を通年で行うこととなれば、レベルアップを図らなくてはならない。加工と道の駅事業ができるような企業体が望ましい。
- ・事業の目的については、地域に良い効果をもたらすものとしてほしい。

推進委員会 委員

・令和4年度以降、どのような課題が出てくるかによって、対応を都度検討していきたい

4. その他

5. 閉会

— 以上 —